

日本語

Moldex社製防じんマスクの使用に関する補足警告

本補足警告は、当製品をご使用のすべてのお客様に、ご注意ください警告及び使用上の制限事項を記載しております。Moldex社製防じんマスクの外箱・外装パッケージに記載されている警告や、その他公開されている関連情報に加えて、使用者の管理責任者が本製品をお使いいただくのに適切な環境下にあると判断された場合は、本書および取扱説明書に記載されているすべての制限・警告事項を守り、正しくお使い下さい。

本防じんマスクを正しくご使用されることで、CBRN(化学物質、生物物質、放射性物質、核兵器)への接触による疾病や死亡の危険性を軽減できますが、このような危険性を完全に排除することはできません。CBRNには、人体へ深刻な影響をもたらす、死亡に至らしめるような特定の細菌、有毒性物質、およびウイルスなどの危険性物質が含まれますが、これらの特定物質のみに限定されるわけではありません。CBRNが長期的、且つ短期的に人体へどのような危険をもたらすかは分かりません。本マスクをご使用される場合、米国疾病予防管理センター(CDC)、および米国内の居住地域、州および米国連邦政府の基準に準拠されなくてはなりません。本マスクはすべてのCBRN危険性物質に対応できるものではなく、特定のCBRN危険性物質に対してのみ有効です。

弊社または他社製マスクの中には防護レベルが高くより効果的な防じんマスクがございます。防じんマスクの使用有無、種類、サイズ、防護レベル、マスクの選定は使用者の責任と判断によって行い、弊社は一切責任を負わないものとします。

背景

米国疾病予防管理センター(CDC)の所属機関であり米国政府機関でもある米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)が産業有害汚染物質に対する防じんマスクの試験と認可を管轄しています。適切な呼吸保護具の選択と、正しい使用方法については、米国職業安全衛生管理局(OSHA)等の政府機関にて規定されております。

米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)は、化学兵器、細菌兵器、生物学的有害物質を取り扱う際に使用する適切な防じんマスクの試験と認可を行っています。またそのような状況下での危険性に関する勧告を使用者に提供しております。米国職業安全衛生管理局(OSHA)などの政府機関では、通常このような物質による汚染に関する基準は定められておりません。

Moldex社は、CBRNの危険のある状況下における作業者及び一般使用者へいかなる防じんマスクの使用を推奨するものではありません。

CBRNはその存在や発生が確認できない場合があるのでご留意下さい。

ご使用になられるすべて皆様への警告

- 本マスクは、作業環境許容濃度限界値(PEL: Permissible Exposure Limit)内の物質を取り扱う場合には管理責任者の判断に基づいてご使用下さい。
- 本マスクを使用される場合は、必ず正しく装着できているかどうか確認して下さい。正しく装着できない場合には、本製品の使用を中止し、危険地域へは近寄らないで下さい。
- あごひげやもみあげ等をはやされている場合には、本製品が顔に直接密着できないため、使用しないで下さい。
- Moldex社の防じんマスクは、総合的な呼吸保護プログラムの一部として正しく装着した場合にのみ、使用者に対し空中に飛散する有害物質に対する危険性を軽減できます。ただし有害物質を完全に遮断することはできません。
- 不慮の事故や予測できない事態においてCBRNが発生した場合、本マスク以外に適切な防じんマスクがお手元にない場合に限り、危険回避の手段として本マスクをお使い下さい。汚染区域から離れるまではマスクを顔から絶対にはずさないで下さい。
- 本マスクを管理責任者の許可なしに、再利用しないで下さい。また再利用するために使用済みマスクを保管したり、首の回りに掛けたりは絶対にしないで下さい。使用済みマスクは管理責任者の指示に従って、有害危険物として廃棄して下さい。
- 管理責任者の指示によっては他の個人用保護器具をお使いになることがあります。防じんマスクに触れるとき、または防じんマスクを取り外す際には、必要に応じて保護グローブをはめて下さい。また防じんマスクと保護グローブは管理責任者の指示に従って廃棄して下さい。
- 米国疾病予防管理センター(CDC)、あるいは居住地域、州、および米国連邦政府が、特定危険有害物を取り扱う場合の防じんマスクの使用に関して、新しくガイドラインを発行したり、改訂したりした場合には、使用者はこれを厳守して下さい。

結核感染予防管理用に防じんマスクを使われる場合の警告

米国職業安全衛生管理局(OSHA)及び米国疾病予防管理センター(CDC)は、作業現場において結核感染を予防するプログラムの一環として、NIOSH 42CFR84の認可を受けた防じんマスクの着用を奨励しています。

現在得られているデータからは結核感染に対する呼吸保護の効果を測ることはできませんが、総合的な呼吸保護プログラムの一部として、適切なMoldex社製防じんマスクを正しくご使用になることで結核感染への危険性は軽減されます。ただし、感染の危険性を排除することはできません。

- 以下に記載されている使用上の制限事項及び「ご使用になられるすべて皆様への警告」に記載されているすべての警告事項を厳守して下さい。
- Moldex社製のいかなる防じんマスクを使用した場合でも、当該国の保健衛生機関の総合的な呼吸保護プログラムにしたがって、フィルターを交換、廃棄して下さい。
- 殺菌剤で消毒したMoldex社製防じんマスクを再使用する場合は、当該国の保健衛生機関に問い合わせ、再使用する防じんマスクとご使用の殺菌剤との適合性を確認して下さい。殺菌剤を使用することで、防じんマスクの効果が失われ、適切な保護ができなくなる場合があります。

使用上の制限事項

- 防じんマスクを使用することで、大気中の危険物質、病原菌に接触、あるいは感染する危険性を軽減することができます。しかしながらこうした危険性を完全に排除することはできません。Moldex社製の防じんマスクは、必ず総合的な呼吸保護プログラムの一部としてご使用下さい。正しく装着できない場合は、防じんマスクで呼吸器官を保護することができません。加えて、感染物質やNIOSHの試験微粒子よりさらに小さい微粒子を含む潜在的危険物質が、大気中に存在している可能性があります。ある公表されたデータでは、これらのより小さい微粒子物質は、NIOSHで認可された防じんマスクを着用する際に使われている試験微粒子[Nシリーズ(CMD: Count Median Diameter 0.075±0.02µm)、(GSD: Geometric Standard Deviation 1.86) R&Pシリーズ(CMD: 0.185±0.02µm)]と同様の遮断効果は得られませんでした。適切な呼吸保護手段を選択される前に、使用者の責任において、お使いの環境下でどのようなサイズの危険微粒子が存在しているかをご判断下さい。また、特に上記に記載したような小さな微粒子が大気中に含まれる可能性のある環境でのご使用の際には、使用者の責任においてCDCのガイドラインを参照の上、どのような防じんマスクが適切かを選択しご使用下さい。
- 防じんマスクに液体(血液や体液を含む)が付着した場合には、汚染区域からできるだけ早く出て、汚れたマスクを廃棄し、新しいマスクと交換して下さい。
- Moldex社製の防じんマスクは、小さなお子さまには絶対にご使用にならないで下さい。

Moldex社製防じんマスクの詳細につきましては、Moldex-Metric米国本社(+1 (310) 837-6500 内線554)、モルデックスジャパン株式会社(+81-6-6225-1030)までお問い合わせいただくか、使用者の管理責任者、あるいは、米国CDC疾病予防管理センター(www.cdc.gov +1 (404) 498-1515)までお問い合わせ下さい。



再生紙を使用しています